

横浜でのスタディーツアーの成果を報告する
高校生たち



途上国の問題考える

世界食料デー記念大会

世界食料デー第25回記念
登別大会(同実行委主催)が
27日、富士町の市民会館で
開かれた。参加者たちが高
校生による国連機関などの
スタディーツアー報告や非
政府組織(NGO)の現地ス
タッフ報告を通じ、途上国
の食料問題について考えた。
1981年の国連総会で
制定された世界食料デー
(10月16日)の啓発を目的
に毎年開催している。四平
世紀の節目の今回は、エチ
オピア視察など過去の活動

を映像で振り返り、大会を
スタートさせた。

室蘭、登別の高校生6人
が、8月の横浜スタディ
ーツアーを報告。室蘭・海星
学院の山下瑠美花さん(2
年)は、国連世界食糧計画
を支援する認定NPO法人
でのワークショップを振り
返り「食べる分だけ買っ
ど自分ができることを実践
していきたい」と語った。
幌別中吹奏楽部による演
奏会や、登別明日の生徒た
ちによる募金の呼び掛けな
ども行われた。

(鞠子理人)